

登録コード	E2910900	開講年度	2026	県内大学開放授業				
授業科目	英語文学基礎				担当教員	金子 史彦		
英文授業名	Basic of English Literature				副担当			
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	2～4年生	
講義室	教育N 3 0 1 講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				英語文学の基礎を学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。			
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				文学作品において使用されている様々な英語表現、文学作品で描かれている英語が使われている国や地域の文化、英語で書かれた代表的な文学について理解し、英語教育に活かすことができるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	学期の前半ではシェイクスピアの作品を原文で読みながらシェイクスピアについて学び、同時に英語読解力を向上させていく。そして後半には複数の英語文学作品を学びながら、読むこと、比較すること、相対的にものを見ること等を身に付けていく。							
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス、シェイクスピアについて、DVD鑑賞（『じゃじゃ馬馴らし』） 第 2 回：Othello act Act1, Scene1-3（イアゴの人物像等の把握 p.1-9） 第 3 回：Othello act Act2, Scene1-2（イアゴの陰謀の理解 p.10-19） 第 4 回：Othello act Act3, Scene1-2（人に疑念を抱かせるイアゴの方法の理解、祈願文を学ぶ p.19-27） 第 5 回：Othello act Act3, Scene3-Act4, Scene1（オセロの嫉妬の理解 p.27-35） 第 6 回：Othello act Act4, Scene2-3（デズデモナとエミリアの男性観の相違の理解 p.35-40-35） 第 7 回：Othello act Act5, Scene1-2（オセロの死の真意を考える p.40-48） 第 8 回：DVD鑑賞（Othelloの現代版であるO） 第 9 回：シェイクスピアの他作品Macbeth（マクベス）と、裏切り者をテーマとした比較 第10回：ポー アメリカ文学Black Cat（『黒猫』） 第11回：オースティン 19世紀前半のイギリス文学Emma（『エマ』） 第12回：ハーディ 19世紀後半のイギリス文学Tess of the D'Urbervilles（『ダーバヴィル家のテス』） 第13回：ワイルド アイルランド文学The Picture of Dorian Gray（『ドリアングレイの肖像』） 第14回：児童文学The Wizard of Oz（『オズの魔法使い』） 最後の15分間で授業アンケートを実施する 教育実習による欠席分については補講を行う。							
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・英語で書かれた代表的な文学の理解の到達度を測るために複数の作品を比較する期末レポート 60% ・文学作品において使用されている様々な英語表現の理解の到達度を測るためにOthelloを扱う回に毎回行う前回の範囲の小テスト 40% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	・小テスト - 前回の授業で示した解答と同レベルの解答であれば「卓越している」、小さなミスがあれば「かなり上にある」、構文を理解していれば「やや上にある」、構文をよく理解していなければ「その水準にある」 ・期末レポート - (i)題材選びが適切であり、(ii)その題材を選んだ理由がよく説明できており、(iii)一つ目の作品がよく分析されており、(iv)二つ目の作品がよく分析できており、(v)その上で二作品の比較がよく出来ており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業内容の欄に、テキスト及び事前配布のプリントで予習しておくべき箇所を指定する。 この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。							
(9)履修上の注意	対面授業。 予習として指定された箇所をしっかりと読んで授業に臨むこと。							
(10)質問、相談への対応及び連絡先	N229, 内線4193, E-Mail: kanekof@shinshu-u.ac.jp, オフィスアワー火曜日 2 限、及び金曜日 2 限、その他予約で対応							
【教科書】	Othello (Retold by Rosalie Kerr) Penguin Readers 670円 その他、適宜プリントを配布							
【参考文献】	指定しない							